

## 1. 調査概要

## 1) 目的

本学の学修支援や学修環境に対する学生の意識や行動を明らかにし、教育の成果を把握すると共に、改善への要望を明らかにする。

## 2) 調査項目

1. 令和3(2021)年度の大学生活に対する満足度
2. 設備や教育内容、学習支援に対する満足度
3. 学修に対する姿勢
4. 授業期間中の学生の時間の使い方
5. 授業以外の時間の大学設備の利用状況
6. アドバイザーへの相談の状況及びその内容
7. パソコンを使用した場合の学修環境
8. 遠隔授業時の使用デバイス

## 3) 調査対象(学生数)

|        | 現代文化学部 |    |    |    |    | 看護学部 |    |    |    |    |
|--------|--------|----|----|----|----|------|----|----|----|----|
|        | 総数     | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 総数   | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 |
|        | 97     | 18 | 31 | 20 | 28 | 280  | 65 | 69 | 59 | 87 |
| 回答数    | 73     | 15 | 21 | 15 | 22 | 252  | 61 | 64 | 55 | 72 |
| 回答率(%) | 75     | 83 | 68 | 75 | 79 | 90   | 94 | 93 | 93 | 83 |

## 4) 調査方法

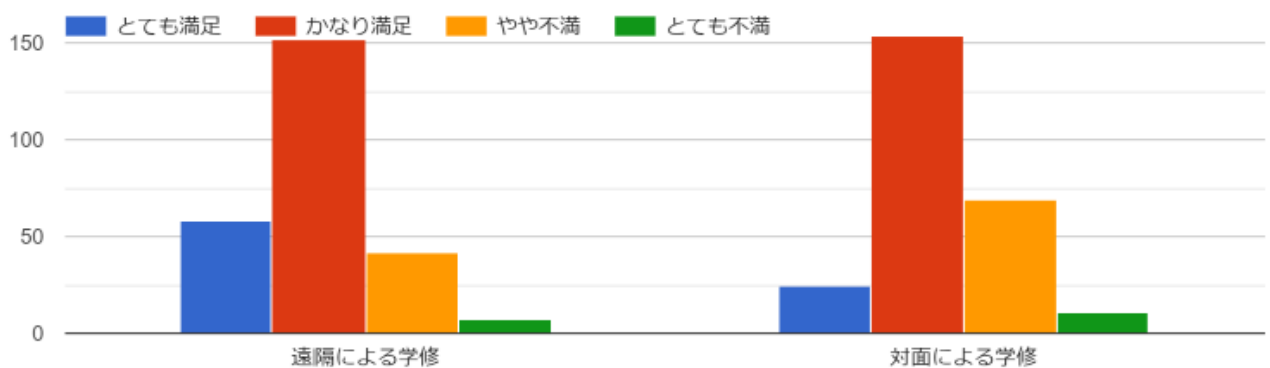
GoogleFormによるアンケート配信

## 5) 調査・回収時期(期間)

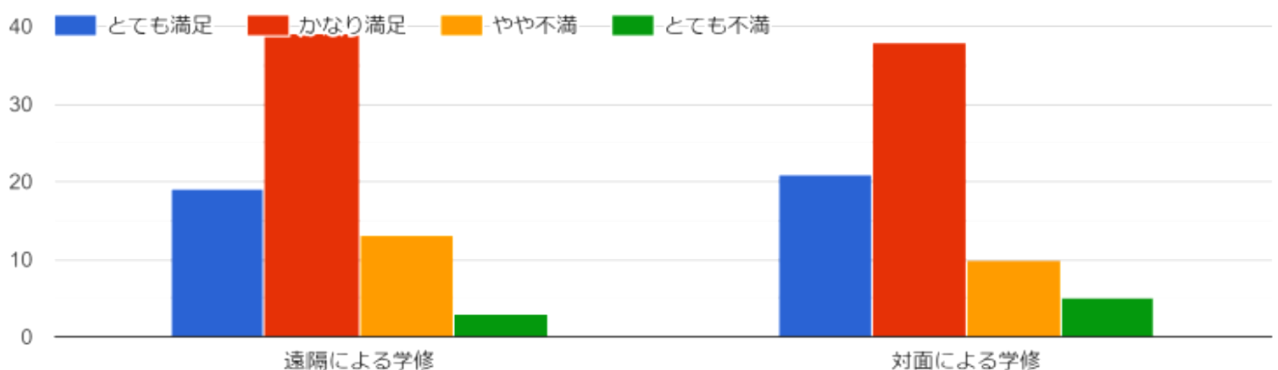
令和3(2021)年12月～令和4(2022)年1月

## 2. 調査結果

1. あなたの2021年度の大学生活において下記の項目に関する満足度についてお聞きします。  
[看護学部]



[現代文化学部]



両学部とも「とても満足」「かなり満足」を合わせた回答が多くなっている(遠隔:現代58【79.5%】、看護:210【83.3%】対面:現代59【80.8%】、看護:179【71.0%】)。看護学部の回答では、対面による学習の「とても満足」の回答が、遠隔による学修よりも低くなっている。遠隔から対面に戻った際の指導のあり方を振り返る必要がある。

### 【現代】

- 公務員試験対策
- 空調管理をしっかりとって欲しいです。また、授業やその他の連絡を迅速に行って欲しいです。
- いちいち席替える必要がないと思うので1年通して同じ席でいいと思う
- 期末のテストとレポートの範囲をなるべく早い段階で告知してほしい
- オンラインで十分対応できる科目があると思うので、それらは出来る限りオンラインで対応して頂きたいです。
- 複数の先生が担当する授業だと先生同士の連携が取れてなくて不便
- オンラインにしてほしい。電車に乗りたくない。
- スマホやパソコンの操作が苦手な人には、用紙で記入などの対応をしてほしい。

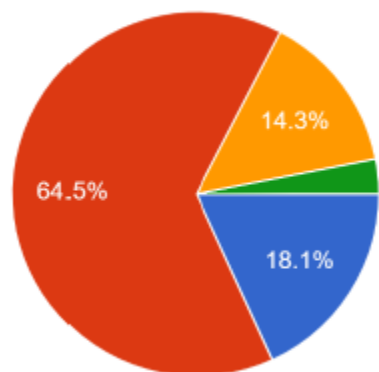
### 【看護】

- 奨学金以外にどんなサポートをされているのか分からない。どんなサポートを行っているのかももっとわかりやすくして欲しい。
- 授業をリモートで受講するか、対面で受講するかを、選択できるようにしてほしい。理由は、コロナ感染者が増えている中で、バスや電車に乗って登校するのは、感染のリスクが高いと考えるからである。可能ならば、演習などの対面でないと厳しい授業のみ、対面にするなどの工夫をしてほしい。
- 教室が寒すぎるのもっと空調管理をしてください。
- 自主学習スペースをもう少し充実させてほしい。個別スペースを作って、電気スタンドを設置するなど...
- イビキかいてる人を起こして欲しい
- 暖房が定期的に切れるので改善してほしい。授業中に寝る行為は他人に影響がないため気にならないが、いびきを教室中に聞こえるくらい大きい音でかいていると学習の妨げになるため注意してほしい
- 暖房冷房の円滑化 寒すぎてアウターを脱がずマフラーを巻いて授業を受けています。かと思ったら暑すぎて空気が悪かったりします。
- 授業中の騒音、エアコンが突然止まらないようにしてほしい、マイクのノイズを無くして欲しい。
- Wi-Fi費用などの援助金
- 通学時のバス代が高額であるため負担が大きく、純心からスクールバスを出すか補助金をもっと出してほしい。さすがに1000円は少なすぎます。
- コロナの陽性者人数が増えて行くと、まん延防止や緊急事態宣言が出ていなくても、通学するのが怖い
- WiFiをもっと強くしてほしい
- 迅速な判断
- 暖房がつかないので寒いです。
- 国試で弱い教科に対する対策をもう少ししてほしい
- 学務の佐藤さんがとても献身的にサポートしてくださってると思います。
- コロナが流行っており、通学の際には片道2時間弱かかるため、感染する機会が多いため対面が不安です。
- 精神的にきつい
- 国試対策
- 自習室の確保
- 遠隔授業の時はちゃんとレジュメ配って欲しい

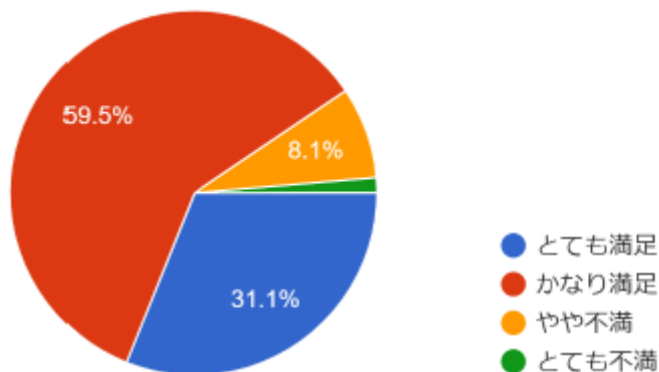
## 2. 本学の設備や教育内容、学修支援にどの程度満足していますか

① ラーニングcommons、図書館や自習環境の整備（※ラーニングcommonsとは図書館の1階や受付の前にグループ学習用に設備された開放的な学習空間のことで、「学修互助会 シオンの丘」という名称です。）

[看護学部]



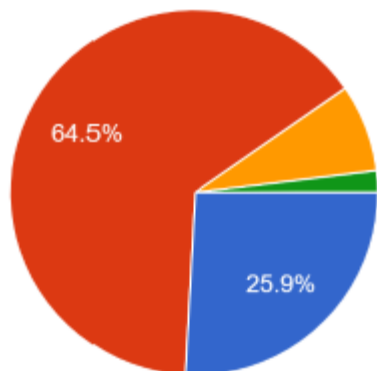
[現代文化学部]



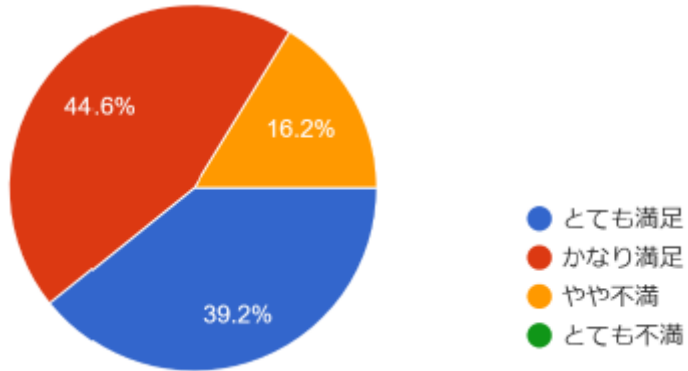
「とても満足」と「かなり満足」を合わせた肯定的評価の割合は、「現代90.6%」、「看護82.6%」である。両学部とも満足度は高い。

② 演習室や実習室・ピアノ教室などの設備や物品

[看護学部]



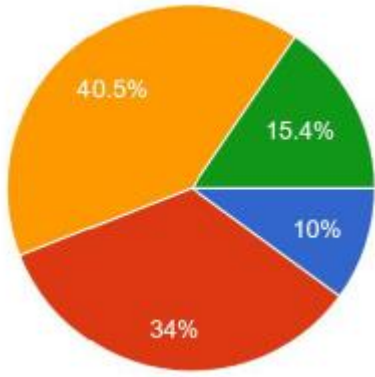
[現代文化学部]



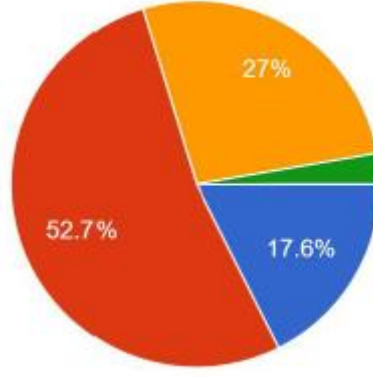
肯定的評価の割合が、「こども83.8%」、「看護90.4%」であり、いずれも高評価である。

③ 講義教室の設備（空調・照明を含む）

[看護学部]



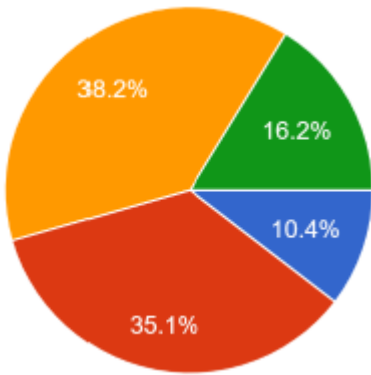
[現代文化学部]



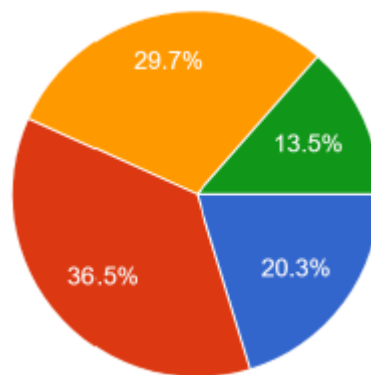
「やや不満」の回答が、「看護40.5%、」、「現代27%」であり、後述する空調や音響機器への不満が反映されている。

④ 情報処理演習室の設備（P C 環境・Wi-Fi環境・プリンターを含む）

[看護学部]



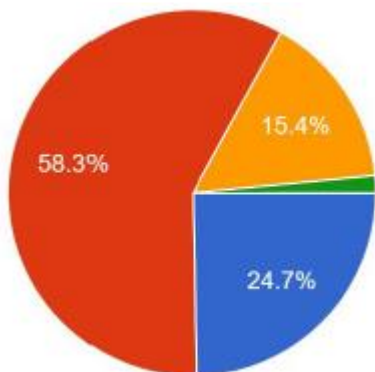
[現代文化学部]



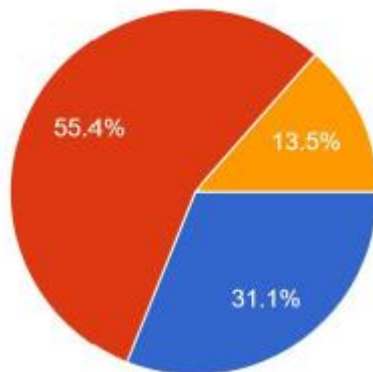
「やや不満」の回答が、「看護38.2%、」、「現代29.7%」であり、後述するWifi環境への不満が反映されている。

⑤事務職員によるサポート

[看護学部]



[現代文化学部]



- とても満足
- かなり満足
- やや不満
- とても不満

「とても満足」「かなり満足」を合わせた回答が、「看護 83%」「現代 86.5%」であり、両学科とも事務職員によるサポートについては概ね満足していることが窺える。

上記①～⑤の設問で改善してほしい課題がある場合には、解決するための方策を具体的に記述してください。(抜粋)

【現代】

| 項目 (件数)           | 内容 (抜粋)  |
|-------------------|--|
| 1. 教室の空調(10件)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで操作できないので不満</li> <li>・ピアノ練習室の空調が1限についていない。冬は特に寒い</li> <li>・夏は冷房が効きすぎて寒く、冬は暖房で暑く乾燥もひどい</li> <li>・ちょうど良い温度や一つ一つ温度設定ができるようにしてほしい</li> </ul>   |
| 2. Wi-fi(4件)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・wi-fiのルータを光回線にしてほしい</li> <li>・スマホでwi-fiにつなごうとするとなぜか『プライバシーが保護されていません』と出てきて接続ができない</li> <li>・Wi-Fiを使うと、重くなるのでいくつかWiFiが欲しい。学年別など。</li> </ul>   |
| 3. パソコン、プリンター(4件) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンによってログインできるできないがあるからとても不満</li> <li>・定期的にパソコンの検査をしてほしい、USBが接続できないパソコンがあったり立ち上がらないパソコンがたまにある</li> <li>・パソコン室は、立ち上げが遅かったり起動しないのがあるので、それを直してほしい。また、半期ごとにパスワードを変更しなくてもいいと思う。</li> </ul> |
| 4. その他            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学務の連絡が遅いので早くして欲しい</li> <li>・補講などの決定をもう少し早くして頂きたいと思います。</li> <li>・一年生が騒いでいるためピアノの練習がしづらい</li> </ul>   |

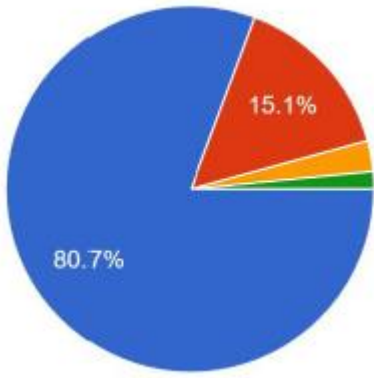
【看護】

| 項目                 | 内容  |
|--------------------|---|
| 1. 教室の空調(45件)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各々の教室で空調管理ができるようにしてほしい</li> <li>・空調が極端に暑かったり寒かったりする</li> <li>・1限から冷暖房をつけてほしい</li> <li>・部屋ごとに空調を調節できるようにする。</li> <li>・空調が効きすぎて、外との寒暖差がすごく体温調節が難しい時があるから、空調の温度調整を少し考えてほしい。具体的には、冬、外が寒く厚着をして登校すると、教室の空調が効きすぎて、上着を脱いでも汗をかいてしまう。これ以上薄着で登校すると寒いので、どうしようもない。暑くて授業も集中できない時がある。</li> <li>・冬は暖房をつけると暑すぎて消すと寒すぎる。夏は冷房をつけると寒すぎる消すと暑すぎる。</li> <li>・空調が全く効かないときとすごく効くときがあるので改善してほしい</li> <li>・暖房が切れて寒いので直してほしいです、足元が冷えます</li> <li>・601教室の暖房が途中で切れます</li> <li>・空調がとても最悪です。とても寒くてコートを着ないと授業を受けられません。設備代払ってるのに寒くて勉強に集中できないのは最悪です</li> <li>・空調が事務に連絡しないと調節できず、時間がかかる上に暑い寒い極端になることが多々あるので教室で調節できるようにしてほしい</li> </ul> |
| 2. Wi-fi(23件)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・wi-fiがアンドロイドでは使えないことが多かったり、階によってネットが使いづらいところがある</li> <li>・Wi-Fiはほぼ7階のみしか使用できない</li> <li>・WiFiのパスワードが分からない</li> <li>・505教室のWiFiが繋がりにくいです</li> </ul>  |
| 3. パソコン、プリンター(14件) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2階のパソコン室のパソコンにログインできなかつたりするので、改善してほしい</li> <li>・パソコンがログインできないものが多い</li> <li>・パソコン室が寒すぎる、ログインできない、印刷できない、USBが読み込めないなどの不良が多い</li> <li>・2階のプリンターの印刷方法が少し複雑だと思います</li> <li>・プリンターに関しては、カードを使ってプリントできる機械が学内に一つしかなく、そのプリンターに生徒が集まるため、効率が悪いと思った。そのため、カードを使用できるプリンターを増やすべきだと思う</li> <li>・2階のパソコン室のパソコンからコピー機への接続が悪い</li> <li>・情報処理演習室のPCの作動が遅いので見直してほしい</li> </ul>  |
| 4. その他             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生ホールが寒い</li> <li>・メールでの対応をもっと早くして頂きたい</li> <li>・事務の対応が遅い</li> <li>・時間割の変更や教室変更が多くいきなり言われても伝わっていない事が多いため、しっかりと前もって連絡をして欲しい</li> <li>・事務なのか先生の都合かはわからないが授業を午後からではなく繰り上げて午前からにして欲しい。再試の報告などを早めてもらえるとありがたいです</li> <li>・教室の椅子がパイプ椅子でかなりきつかった</li> <li>・自習スペースをもう少し充実させてほしい。個別スペースをいくつか作ってほしい</li> <li>・プリントできる場所を増やしてほしい</li> <li>・図書館や学内の開放時間を長くしてほしい</li> <li>・講義中部屋を真っ暗にしないで、後ろだけでも電気をつけておいてほしい</li> </ul>   |

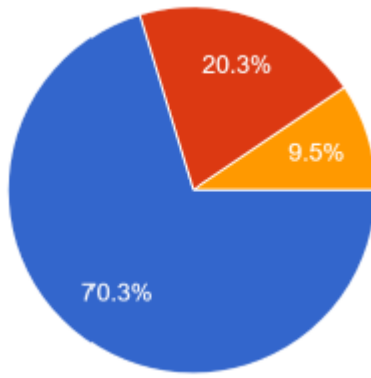
### 3. あなたの学習に対する姿勢についてお聞きします。

#### ① 正当な理由がなければ、欠席はしない

[看護学部]



[現代文化学部]

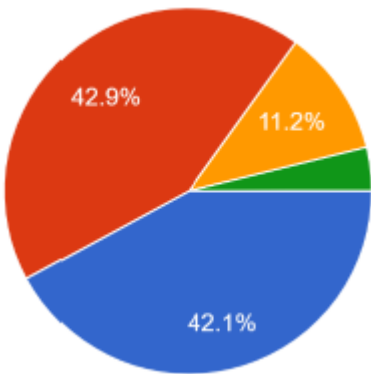


- あてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらかといえばあてはまらない
- あてはまらない

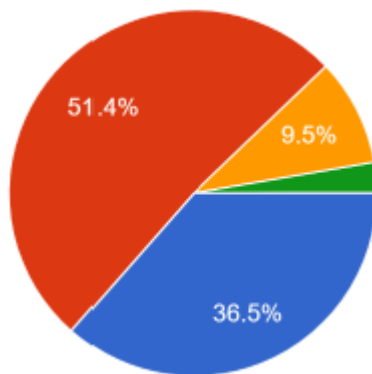
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を併せた回答が、「看護 95.8%」「現代 90.6%」であり、授業への出席に対する意識は両学部とも極めて高い。

#### ② 自分では意欲が高く、積極的に学修している方だと思う

[看護学部]



[現代文化学部]

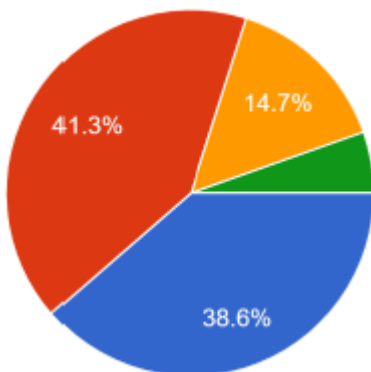


- あてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらかといえばあてはまらない
- あてはまらない

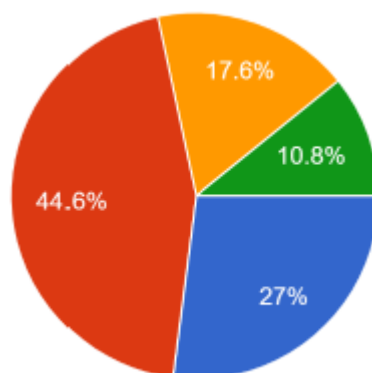
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を併せた回答が、「看護85%」「現代87.9%」である。両学科とも学修への意欲は高い。

#### ③ 授業時間以外に、他の学生と一緒に勉強する、または教職員に学修の相談をしたりすることがある

[看護学部]



[現代文化学部]

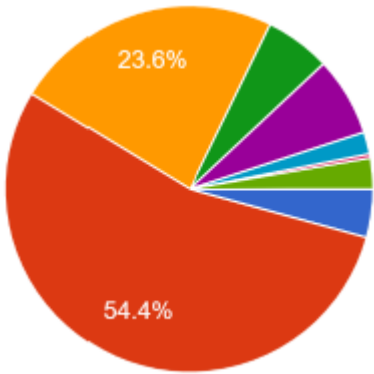


- あてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらかといえばあてはまらない
- あてはまらない

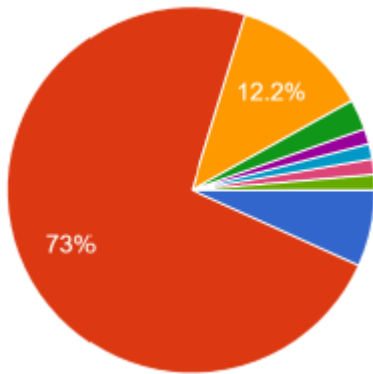
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を併せた回答が、「看護79.9%」「現代71.6%」である。ただし現代文化学部では「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた回答も28.4%ある。

4. 今年度のあなたの時間の使い方について教えてください。授業が行われている時の1週間において、大学の授業の予習・復習・課題についてどのぐらいの時間を使っていますか(通学中、移動中などの時間を含む)。

[看護学部]



[現代文化学部]

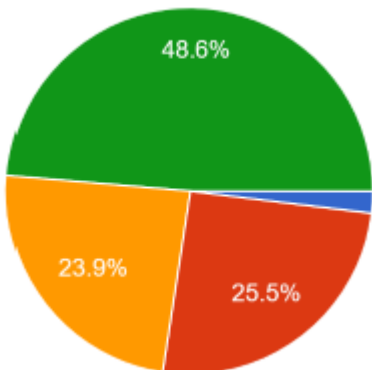


両学部とも、「1時間~5時間」の回答が最も多く、次いで「6時間~10時間」の回答もみられたが、この設問については問いのしかたが分かりづらく（1週間で何時間か？それとも1週間の中で、1日あたり何時間か？）次回への反省とする。

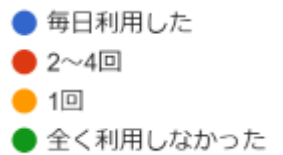
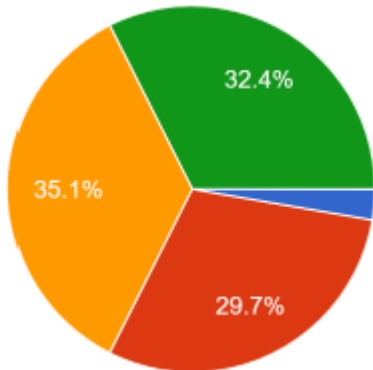
5. 授業以外の時間で、学修を目的として、下記①~④の場所を1週間に何回くらい利用しましたか。

① 図書館（ラーニングcommons含む）

[看護学部]



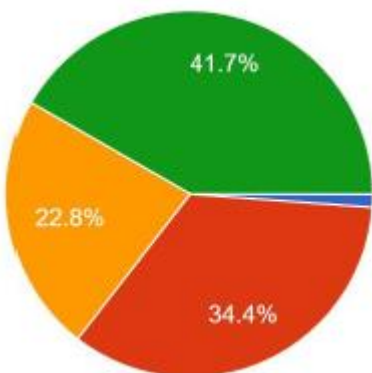
[現代文化学部]



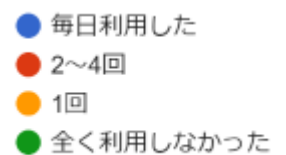
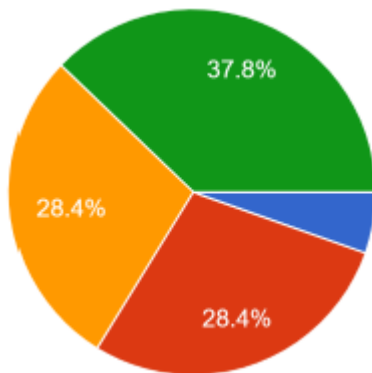
両学科とも「全く利用しなかった」「1回」を合わせた回答が過半数にのぼる。利用を呼び掛ける必要がある。

② 情報処理演習室（2階パソコンルーム）

[看護学部]



[現代文化学部]



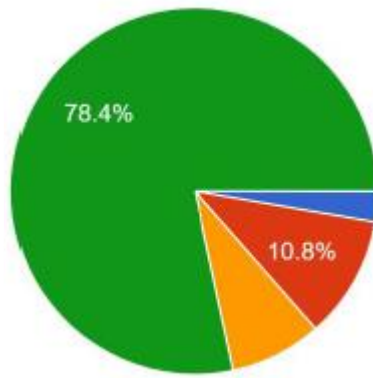
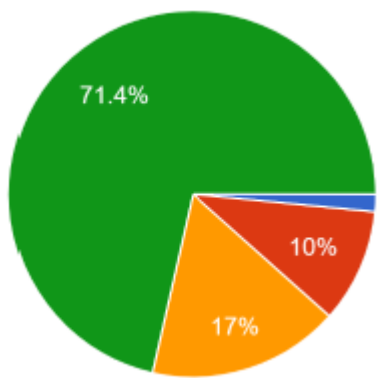
この設問も、「全く利用しなかった」「1回」を合わせた回答で過半数となる。情報処理演習室のパソコンが利用人数に合ったものになっているかについては引き続き検証する必要がある。



### ③ 自己学習室

[看護学部]

[現代文化学部]



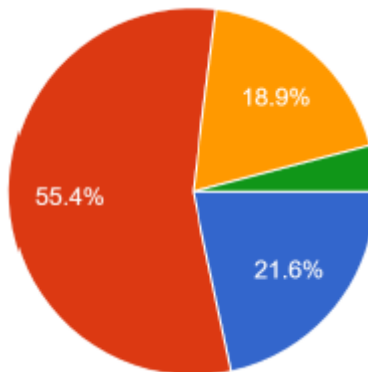
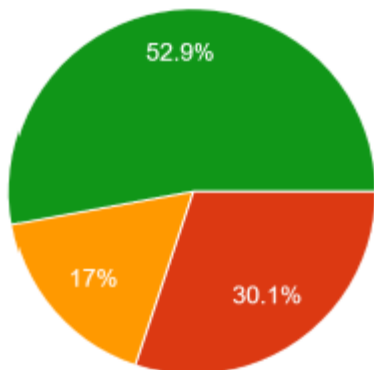
- 毎日利用した
- 2~4回
- 1回
- 全く利用しなかった

両学部とも「全く利用しなかった」との回答が70%を超えている。自己学習室の周知徹底は次年度も継続した課題となる。

### ④ 実習室・ピアノ練習室

[看護学部]

[現代文化学部]



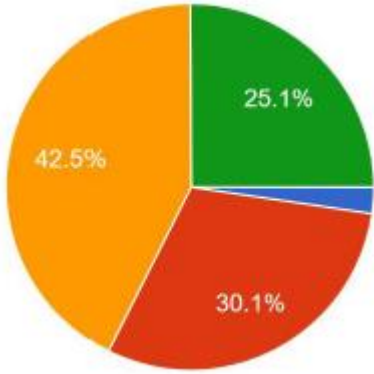
- 毎日利用した
- 2~4回
- 1回
- 全く利用しなかった

現代文化学部は「毎日利用した」「2~4回利用した」を併せた回答が77%であるのに対し、看護学部は「1回」「全く利用しなかった」を併せた回答が69.9%である。こども文化学科のピアノ練習室の利用頻度が高いことは想定できるが、実習室の両学科の利用頻度を検証する必要がある。

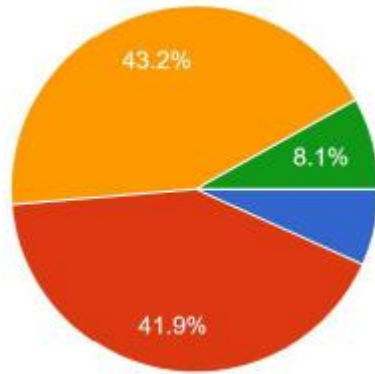
6. 下記①、②のことについて、アドバイザーまたは科目の教員に相談していますか。

① 科目の履修状況や成績について

[看護学部]



[現代文化学部]

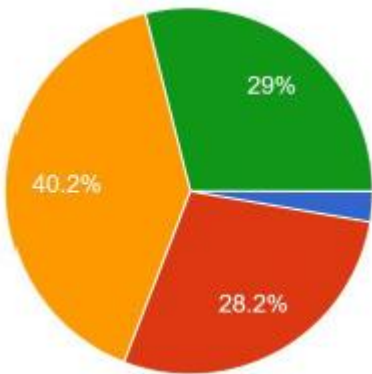


- 日常的に相談している
- 時々相談している
- ほとんど相談していない
- 全く相談していない

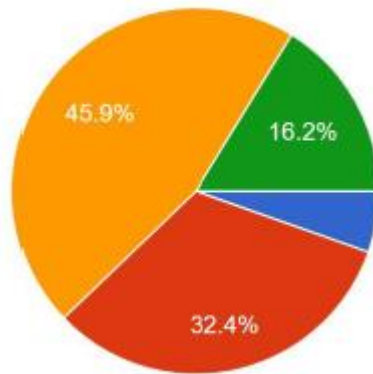
両学部とも「ほとんど相談していない」という回答が最も多くなった。次いで「時々相談している」の回答が多い。これは所定の面談の機会以外にアドバイザーへ相談する学生が多くないことを示している。一方で「時々相談している」の回答の割合からは、学生が相談したい時に相談できる環境を用意しておくことの必要性が窺える。

② 学修の仕方について

[看護学部]



[現代文化学部]



- 日常的に相談している
- 時々相談している
- ほとんど相談していない
- 全く相談していない

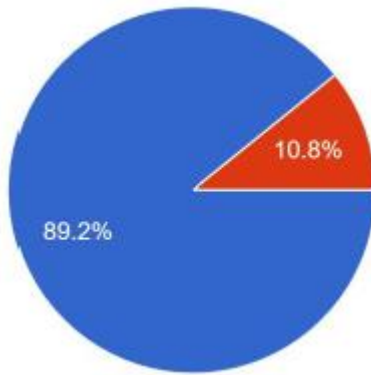
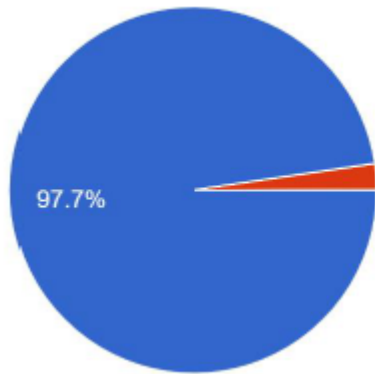
両学部とも「①科目の履修状況や成績について」と同じような配分の結果となっている。

7. 現在のあなたの「パソコンを使用した場合の学習環境」について教えてください

1) 現在、自分が使用できるパソコンを持っていますか。

[看護学部]

[現代文化学部]



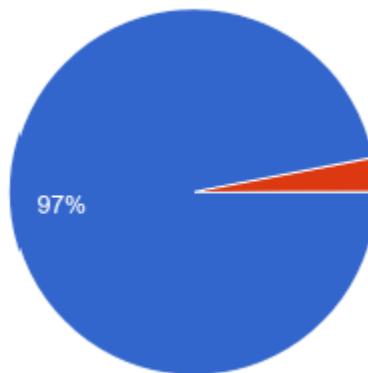
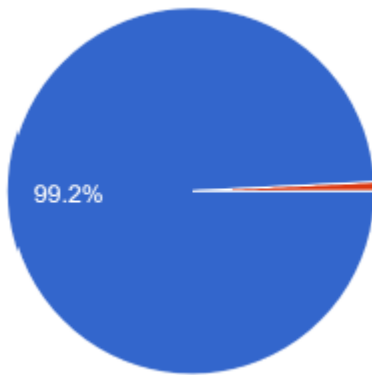
● 持っている  
● 持っていない

両学部とも9割前後の学生が自分が使用できるパソコンを所有している。

2) 1) で、①を選択した方は、(1)・(2)の質問に回答をお願いいたします。

(1) そのパソコンは、今の住居でインターネットにつながることができますか。

[看護学部]



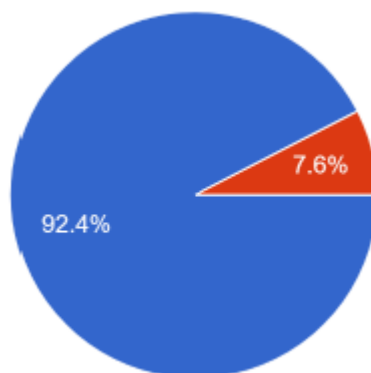
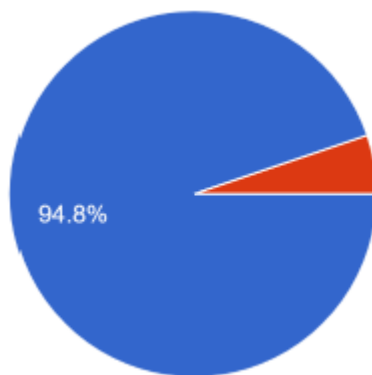
● できる  
● できない

ほぼ全ての学生が、自分のパソコンでインターネットに接続することができる。

(2) そのパソコンには、Word、Excel、PowerPointのソフトが入っていますか。

[看護学部]

[現代文化学部]

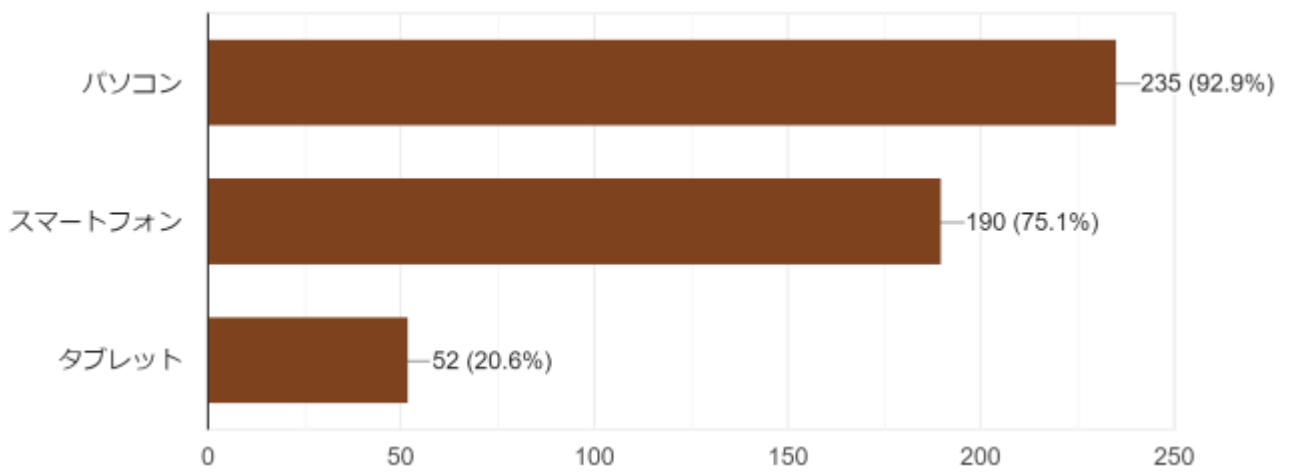


● 入っている  
● 入っていない

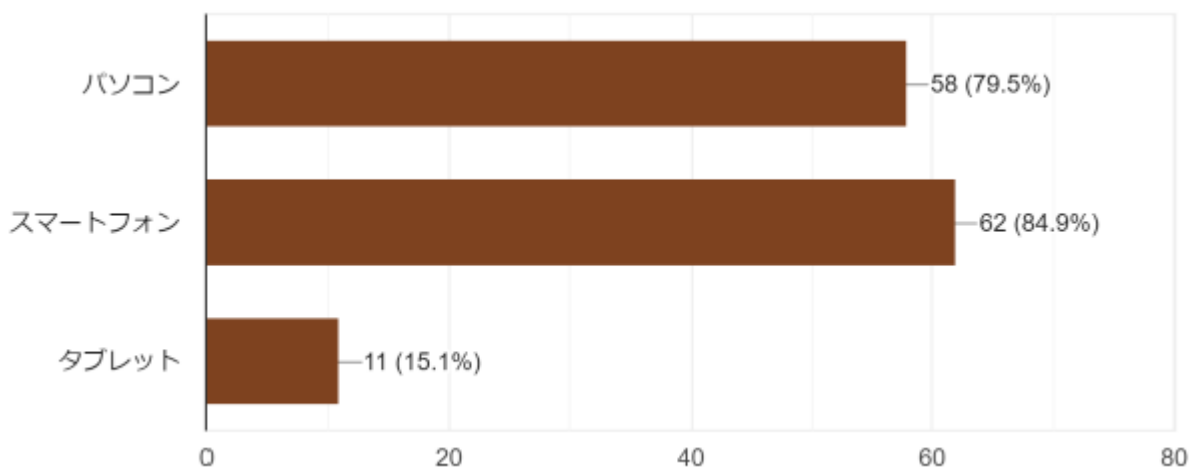
9割以上の学生のパソコンに、word,excel,Powerpointのソフトが入っている状況である。

8. 2021年度の遠隔授業時に、あなたが使用したデバイスを全て選択してください。

[看護学部]



[現代文化学部]



看護学部では、パソコンを使用した学生が最も多く92.9%であったのに対し、現代文化学部ではスマートフォンを使用した学生が最も多く84.9%であった。学修内容の違いからか、看護学部の学生の方がパソコンを日常的に使用する傾向があるかどうか、継続した調査の必要を検討したい。

9. 全体を通して、改善してほしいことや、要望等がありましたら、自由に書いてください(抜粋)。

【看護】

| 項目           | 内容  |
|--------------|---|
| 1. コロナ対策(4件) | <ul style="list-style-type: none"><li>・コロナの感染者数が増えているので、毎日バスや電車に乗って登校するのが怖い。だから、登校日数を減らすか、リモート授業にしてほしい</li><li>・オミクロン株が流行していて重症化しにくいとはいえ感染力が強く、不安です。私自身こまめに消毒や手洗いを行ったりと感染対策を行っていますが、毎日人の多い電車やバスを使って通学し、学内には感染者も出ています。メールでバス利用に関する注意喚起が度々ありますが大声で話している人も多く、乗車中に一般の方から注意されると文句を言う様子が見受けられます。感染対策を行なっても一人一人意識は異なるため、あまり意味を成していないような気がします。学生のために先生方で様々な話し合いや対策をして頂いているのは承知の上ですが対面での授業が続くことに正直不安があります</li><li>・コロナ陽性者の情報を開示して欲しいです。ただの噂に過ぎませんが、現在の東京の感染者数を垣間見ても学内に陽性者がいてもおかしくないと思うのでこの話を記述しました。陽性者が出ているのならメール配信をしてほしい。個人情報を守るためだと言っても、陽性が何人出ていることを開示するのは義務ではないのでしょうか。自身を、家族を、その周囲の人を守ることに繋がる大切な情報です。私を含め学生の家族には、医療従事者や介護業についている人がいます。いくら日常生活で不要不急の外出をしないようにしてても学校で陽性者が実は居ましたでは済まされないのです。よろしく願い致します</li><li>・新型コロナウイルスが流行している中、陽性者がクラスで出ているのにも関わらず対面を続けていることに不安を感じます。私は電車とバスを利用して登下校を行なっていますが、マスクを着用していない方や電車やバス内で大きな声で話をしている方をよく見かけます。緊急事態宣言が出たらオンラインにすることや学校内でクラスターが発生していないから対面を続けていることは承知の上ですが、医療従事者を目指す者を育成する場所の対応としてふさわしくないと考えます。感染対策は個人で徹底的に行なっていますが、交通機関を利用する以上知らない間に市中感染している可能性もありますし、もし自分が知らない間に感染していて友人や先生などに感染拡大している可能性があるかもしれないと不安を抱きながら登下校することがとても怖いですし不安です。定期テストをオンラインで行うよう検討していただきたいです</li></ul> |
| 2. 教員の指導(2件) | <ul style="list-style-type: none"><li>・先生は人によっては説明不十分なのに生徒のせいにしてきたりしてくる。ちゃんと改善して欲しい。リモートの時の方が、サポートされていた気がした</li><li>・先生が苦手</li></ul>  |
| 3. その他       | <ul style="list-style-type: none"><li>・遠隔授業の時のレジュメは事前に配って欲しい(郵送など)</li><li>・図書館の国試対策本の最新年度があまり揃ってない</li><li>・授業数が多く空きコマもないという状況にしては少し課題が多い印象がありました。課題が将来必ず自分の糧になるということは理解しているつもりですが、毎日の予習復習もある中で課題に取り組むことはかなり時間的にも体力的にも厳しく感じましたので、可能な範囲で少しでも課題を減らしていただければ幸いです</li><li>・教科書を電子化してほしい</li><li>・国試勉強に向けて過去問を印刷した際など、大量に印刷した時には自分が持っている小さいものだと止めることが難しいので、業務用の大きいホチキスが借りられると嬉しいです</li><li>・学生の意見の反映。反映できない場合の理由などを明確に伝えていただきたい</li></ul>  |

【現代】

| 項目           | 内容  |
|--------------|---|
| 1. コロナ対策(2件) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが増えていくにつれて対面で大学へ通うことに大きな抵抗がありました。怖かったです。その反面、緊急事態宣言の時のオンライン授業はとても安心できるものでした。対面授業と比べて先生方に負担がかかる中、私たちのためにありがとうございました</li> <li>・オンラインで対応できる科目はオンラインにしていだけると有難いと感じております</li> </ul>   |
| 2. 教員の指導(3件) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な授業の時間を先生の説明不足や授業の効率の悪さで無駄にしていると思います</li> <li>・教師が体調不良等で休む授業が多すぎる。3週連続で休みになった科目もあり、体調不良は自然に起こりどうにかできるものではないとはいえ補講で振り回され予定を変更しなくてはいけないのは生徒であるこちら側であり、その上生徒側が体調不良で休んだ場合は欠席扱いで成績に響くというのは如何なものか。こちら側の都合を鑑みず授業を潰し補講すればOKという安易な姿勢はあまりにも誠実さに欠けておりどうにかしようというという気持ちや謝罪の気持ちが微塵も感じられない。教師側の都合で授業が潰れた際はその科目をオンデマンドで配信するか課題等をオンラインで配信するなどして、補講という対応をするのはやめていただきたい</li> <li>・先生たちの間で、共有しなくてもいいような個人の話まで共有されているのが気になります。ストレスです。加えてある先生に相談すると他の先生にまでその相談が漏れるので相談しようとする意欲を削がれています</li> </ul> |
| 3. その他(2件)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日に1コマだけの日が出来ないよう、もう少し時間割を上手く作ってほしいです</li> <li>・スマホやパソコンの操作が苦手な人には、用紙で記入するなどの対応をしてほしい</li> </ul>  |

# 考察及び課題：第1回結果との比較

## 1. 学修環境整備について

主に自由記述欄より、以下の学修環境に対する不満が読み取れる。

①Wifi環境：令和3年度に対応済であるはずだが、調査を行った令和3年12月～令和4年1月に依然として改善を求める意見が多くなっている。全体としては27件（第1回調査時37件。大幅に減少しているとは言えない）。

②PC室のPC及び周辺機器（プリンター）、印刷用紙：PCの起動が遅い、USBを読み込まないなどの改善を求める意見が全体で18件。第1回調査時には13件であった。内容としては、2階の情報処理演習室のパソコンとプリンターの接続が悪いとの意見が3件あった。

③空調：空調の調節ができるようにしてほしい（ONかOFFしかできないことに対する不満）、教室で操作できるようにしてほしいという要望が全体で55件。第1回調査時には空調への意見は25件であった。冬の時期の暖房の効きについての意見が大幅な増加につながっていると考えられる。

④第1回調査時に改善を求める声があった教室のモニター及びマイクについては今回はほぼ意見がなかった。

## 2. 自己学習室について

自己学習室については、第1回調査時も「ほとんど利用しなかった」の回答が70%を超えており、第2回調査でも改善は見られなかった。しかし、特に看護学科の4年生などは大学で自己学習する教室は必要である。引き続き学生へ周知し、利用を促す（ただし、収容人数は20名前後である。感染対策を徹底した上で使用するよう併せて周知する）。

## 3. 遠隔授業を受講するデバイスについて

第2回調査で新設した設問である。学部間で最も使用されたデバイスが異なっていることが分かった。教員は、スマートフォンから受講する学生が多いことをふまえて準備を行う必要がある。一方で学生に、パソコンを用いた受講に慣れてもらうような働きかけが出来ると良いのではないかと。

## 4. 自由記述の内容の変化について

前期に比べて対面授業が増加した後期は、自由記述欄に遠隔授業を希望する意見、コロナ感染を不安に思う意見が増加している。学生が置かれている状況は実に多様であるため、いかに不安の低減につなげ、学修を進めていけるよう、学務課は健康サポートセンター、科目担当者、アドバイザー等連携し、学修支援を行う必要がある。

以上